

市制100周年記念事業『足利市高校生議会』

わたしたち

～住み続けたい、未来の「あしかが」を考えよう～

このたび、足利市は市制100周年という大きな節目を迎えました。この間、第二次世界大戦やカスリーン台風、バブル経済の崩壊、東日本大震災など幾多の困難に見舞われましたが、先人をはじめとする市民の皆さんが「足利」への思いを紡いできたことで、今日という日を迎えることができました。

そこで、これからの100年に向けて、足利市をさらに輝きのあるまちとするべく、次代を担う若者に政治を身近に感じてもらうため、市内の高校に通う高校生の皆さんを対象とした模擬議事を8月1日に開催します。

6月13日には、広報広聴常任委員会の委員10名を講師とした研修会を開催し、高校生議員として一般質問とまちづくりへの提言を行うための準備を進めました。



▲8月1日に向け研修会に臨む高校生議員の皆さん(6月13日)

私たち議員は、新盆等のごあいさつを自粛しております。

議員は、選挙区内の方々に対して、お中元、お祭り等の寄附、新盆の供物等従来から慣例として行われているような寄附は、公職選挙法において禁止されておりますので、市民の皆さまのご理解をお願いいたします。

足利市議会議員一同



編集 雑感

第25期足利市議会も残り2年の任期となり、折り返しの時期を迎えました。5月の臨時会では正副議長選挙が行われ、広報広聴常任委員会も新たな体制となりました。今後も市民の皆さまに親しまれる広報紙を目指してさらに努力をしていく覚悟です。

今号の表紙は足利高校写真部にご協力をいただきました。夕日を背景にした渡良瀬橋の風情あるたたずまいに、ふるさと足利への強い思いが湧き上がる作品です。今後も、「しづかいひろば」を通して市民の皆さまと心のキャッチボールができるような工夫を継続してまいります。(広報部会部会長 杉田 光)